

建築一般材料・施工学
Building Materials and Construction

教員名	木多道宏(きた みちひろ)、甲谷寿史(こうたに ひさし) 飯田匡(いいだ ただす)、山口善史(やまぐち よしふみ)[非常勤]							
教員連絡先 (研究室所在地・TEL)	吹田キャンパス S1棟8階 811室(木多)、827室(甲谷)、825室(飯田) 電話: 06-6879-7640(木多)、06-6879-7644(甲谷)、06-6879-7648(飯田)							
E-MAILアドレス	kita@arch.eng.osaka-u.ac.jp(木多)、kotani@arch.eng.osaka-u.ac.jp(甲谷) iida@arch.eng.osaka-u.ac.jp(飯田)、							
履修対象	地球総合工学科建築工学コース(3年次)							
単位	2	セメスター				6		
受講条件	建築計画基礎、居住環境計画、建築熱環境を履修していることが望ましい。							
授業の教育目的・目標 他科目との関連	建築は、その材料生産から施工・使用・維持管理・廃棄までの各段階で大量の材料とエネルギーを消費するため、地球環境問題の解決に向けて建築が果たすべき役割は大きい。このような観点から、前半の建築一般材料では、材料の種類と物性及びそれに応じた適材適所の使い方、長寿命化を目的とした建築の企画・設計に必要な基礎知識を講義する。後半の建築施工学では、現在の施工技術の基礎を理解し応用できることを目的として、建築施工の実際を学び各種の選択肢から最適なものを選ぶ基本的考え方を修得する。							
学習・教育目標	A	B	C	D	E	F	G	H
	○						◎	
授業計画・概要	テーマ		概要					学習・教育 目標
	建築材料の種類と特性(2回)		様々な建築材料の種類と材料特性について基本的な知識を身に付ける(包括2回)。					G
	生活環境における建築材料の役割(1回)		建築、都市を構成する建築材料の役割と生活環境上の意味について基礎的な知識を身に付ける。(包括1回)					G
	街における建築材料の構成(1回)		歴史的・現代的市街地の特徴、景観デザインのあり方について専門的な知識を身に付ける。(包括1回)					G
	建築デザインのしくみと技術(1回)		建築家によるディテールデザインの分析、ファサードのコーディネーション等について専門的な知識を身に付ける。(包括1回)					G
	意匠と建築材料・構造形式の関係(2回)		建築材料や構造形式と建築デザインとの関係についての専門的な知識を身に付ける。(包括2回)					G
	建築施工の順序と工程(2回)		建築工事の一般的な工程について基本的な知識を身につける。(包括2回)					GA
	各種工事(4回)		仮設工事、掘削工事、躯体工事、仕上げ工事に関わる各種の工法および各工事における品質管理の概要を理解する。それにより、様々な工法の中から最適なものを選ぶ考え方について基本的な知識を身に付ける。(包括4回)					G
	建築施工の最近の動向(1回)		建築施工技術の最新動向について、基本的な知識を身に付ける。(包括1回)					GA
	学期末試験(1回)							
教科書	プリントを配布する。							
参考図書・文献等	安達嘉一、加賀秀治、鶴田裕編著「建築施工用語集」、東洋書店							
成績評価方法・評価基準	建築一般材料は学期末試験(40%)と小テスト・レポート(10%)、建築施工学は学期末試験(30%)と小テスト(20%)で評価する。							
オフィスアワー	随時e-mailにて対応する。							
コメント								

